

施設名	布引五本松堰堤								
所在地	兵庫県 神戸市中央区								
管理者等	神戸市								
施設種類・分野	堰								
施設概要 (明治期との関連含む)	水道専用としてはわが国初の重力式粗石コンクリート積ダム。 明治30年代当時としては画期的な規模で、しかも西暦1892年に決壊したフランスのブーゼイダムの事故原因となったダム底面への浸透水を排除するため、小孔をあけた鍛鉄製の直径1.5インチの管を157本堤体内に設置して浸透水による揚圧力を防ぐなど、新しい工夫がされていた。								
築造時期	明治後期				時期詳細	明治33年			
関連人物	佐野藤次郎								
関連企業	-								
トピックス (特徴的エピソード)	現在、五本松堰堤はライトアップも行われ、新神戸駅西側の北野と六甲山上ハーブ園をつなぐロープウェー夢風船からも眺めることができる。 KOBE WATERを象徴するこの歴史的土木構造物は現役の水道施設であると同時に、市民の憩いの場、観光資源としても活用されている。								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産 (土木学会)	-	文化財 (文化庁)	重要文化財	近代化産業遺産 (経産省)	-	世界遺産 (ユネスコ)	-
その他 (関連資料、文献)	日本の近代土木遺産(土木学会 土木史研究委員会)								
管理者等のHP (URL等)	神戸市HP http://www.city.kobe.lg.jp/culture/culture/history/isan-i/index.html								

